

株主のみなさまへ

2021年12月期 中間報告書

(2021年1月1日～2021年6月30日)

証券コード:2579



BOTTLERS JAPAN HOLDINGS INC.

コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社

Top Message

トップメッセージ

「withコロナ」において売上の改善を図るとともに、 中長期の事業成長に向けた投資を継続

平素より当社への格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症に罹患された方々とそのご家族に心よりお見舞い申し上げます。また、感染拡大防止や治療等に日々ご尽力されている関係者のみなさまに心より敬意を表します。

当社のミッションは、困難な時期においても、すべての人にハッピーなひとときをお届けし、価値を創造することです。みなさまの生活に寄り添い、安全・安心な飲料・サービスを提供し続けるために、さまざまな対策を講じてまいりました。経済活動の早期再開に貢献すべく、社員、業務委託先、サプライヤー等を対象に新型コロナウイルスワクチンの職域接種をいち早く実施したことは、その一例です。

上期の総括

本年上期(1月1日～6月30日)における国内清涼飲料市場は、新型コロナウイルス感染症の影響継続などにより、前年同期比微増で推移したものとみています。そのような中、当社は新製品の投入や販売チャネルごとのトレンド変化への対応などにより、売上への影響を最小限に抑えてまいりました。また、コントロール可能な分野に注力し、ベンディングチャネルのオペレーションのさらなる効率化や、アジャイルで柔軟な供給体制に向けた自動物流センター「埼玉メガディストリビューション

センター(DC)」の稼働、低コストオペレーションの実現に向けたサプライチェーン体制のスリム化、新しい働き方の推進等の変革の取り組みを進めてまいりました。さらに、「廃棄物ゼロ社会」の実現に向けた100%リサイクルPETボトルの採用拡大や、ダイバーシティ&インクルージョンの推進などESGの取り組みも強化してまいりました。

上期の売上収益につきましては、第1四半期は新型コロナウイルス感染症の影響が限定的であった前年同期と比べて厳しい結果となりましたが、第2四半期には一定の改善を実現し前年同期比11%増となり、上期では前年同期比1%減の3,693億円となりました。事業利益につきましては、経常的な



代表取締役社長
カリン・ドラガン

コスト削減に取り組む一方、成長に向けて、前年同期に抑制したマーケティング投資や人材への投資を適正な水準で実行したことなどから、上期では前年同期比74億円減の148億円の損失となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益につきましては、キューサイ(株)の株式売却益を計上したことなどから、前年同期比61億円増の4億円の損失となりました。

今後の見通しにつきましては、売上収益は前年からの一定の回復を見込むものの、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい事業環境が継続することを見込んでおります。状況が正常化したときに、より利益を生み出せる体制の構築に引き続き取り組むとともに、売上と利益の状況を注視しながら、中長期の成長に向け、下期も必要な投資を実行してまいります。

キャッシュの状況および株主還元について

フリー・キャッシュ・フローの継続的な向上に努めており、資本の適切な管理・運用の観点から、子会社株式の売却をはじめと

する事業ポートフォリオの見直しや政策保有株式の売却、拠点再編等を実施し、現時点で十分なキャッシュを創出できていると考えております。設備投資を含めた資本の投下についても、内容をこれまで以上に精査しながら、中長期の成長につながるものに絞って実行しております。

配当につきましては、前年の中間配当は、前例のない厳しい事業環境の中、やむなく無配とさせていただきますが、本年は当社の基本方針である安定配当の考えに基づき、1株当たり中間配当金を2019年並みの25円といたしました。期末配当金も1株当たり25円を予定しており、年間では1株当たり50円を見込んでおります。

引き続き短期的な業績の厳しさが見込まれるものの、中長期の持続的な成長に向けて信念をもって変革を遂行し、ステークホルダーのみなさまにとっての価値を創出し続けてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き当社へのご理解と長きにわたるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ニュースカレンダー

1月	▶「東京都女性活躍推進大賞」の産業分野にて「大賞」を受賞 トピックス②へ
2月	▶キューサイ(株)の株式譲渡完了および株式譲渡益の計上 ▶自動物流センター「埼玉メガDC」の稼働開始 トピックス②へ ▶「からだおだやか茶W」発売
3月	▶コカ・コーラ社製品約8万ケースを医療機関やフードバンク等に寄贈 ▶「なでしこ銘柄」の「準なでしこ」に3年連続で選定 ▶「綾鷹カフェ 抹茶ラテ」発売
4月	▶「ジョージア ラテニスタ クリーミーラテ」発売 ▶「コスタ ブラック」、「コスタ カフェラテ」発売 トピックス①へ ▶自動販売機サブスクリプション(定額) サービス「Coke ON Pass」のサービス開始 ▶「やかんの麦茶 from ー(はじめ)」発売 トピックス①へ



詳しくは当社ウェブサイト「ニュース」をご覧ください。

<https://www.ccbji.co.jp/news/>



5月	▶FVジャパン(株)の「冷感マスク」が「第17回ガラスびんアワード」機能・環境賞を受賞 ▶「アイシー・スパーク from カナダドライ」、 「アイシー・スパーク from カナダドライ レモン」発売 ▶小松工場でアルコール製品製造ラインを稼働開始 ▶日本のコカ・コーラシステム全6社にて同性パートナーに対応した就業規則・福利厚生生の整備が完了
6月	▶「コカ・コーラ ボトラーズジャパン オンライン工場見学」を開始 ▶新型コロナウイルス感染症のワクチン職域接種を開始 ▶健康経営への取り組み: コロナ禍の運動不足を解消するため自社開発アプリを使用したウォーキングイベントを継続実施 ▶「ノメルズ ハードレモネード」発売 トピックス①へ
7月	▶「トボチコ ハードセルツァー」先行体験サンプリング実施 トピックス①へ

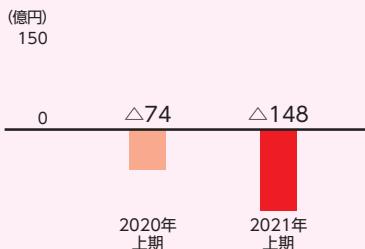
売上収益

3,693億円



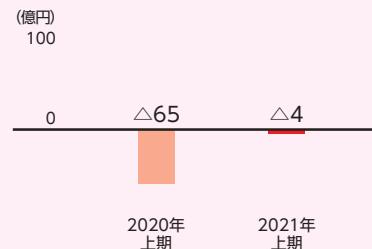
事業利益

△148億円



親会社の所有者に帰属する当期利益

△4億円



現金及び現金同等物の期末残高

995億円



資産合計

8,841億円



負債及び資本合計

負債合計 3,840億円 資本合計 5,000億円



ポイント

- ☑ 売上収益は新型コロナウイルス感染症の影響継続により減収。事業利益は売上収益減少や前年同期の一時的なコスト削減の反動影響等により減益。
- ☑ 現金及び現金同等物はキューサイ㈱の株式売却による収入があったものの、短期借入金の返済や「埼玉メガDC」を含む有形固定資産の取得、期末配当金の支払い等により減少。
- ☑ 資産合計はキューサイ㈱の株式売却にともなう売却目的保有に分類される処分グループに係る資産の減少により減少。負債合計は同影響による売却目的保有に分類される処分グループに係る負債の減少や短期借入金返済等により減少。資本は配当金支払い等による利益剰余金の減少等により減少。

(注1) 2020年12月に当社が保有するキューサイ㈱の全株式を売却することを決定したため、2020年において、同社および同社の子会社の事業を非継続事業に分類しています。これにともない、2020年の売上収益および事業利益について、非継続事業を除いた継続事業の金額に組み替えています。

(注2) 事業利益は、事業の経常的な業績をはかるための指標であり、売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費を控除するとともに、その他の収益およびその他の費用のうち経常的に発生する損益を加減算したものです。

(注3) 現金及び現金同等物の期末残高は、キャッシュ・フロー計算書における数値であり、売却目的保有に分類される処分グループに係る資産が含まれています。

やかんで煮出した本格的な麦茶の味わいを目指す

やかんの麦茶 from ー (はじめ)

4月26日発売

- ◆「やかんで煮出した」ような本格的な麦茶の味わいを追求。こうばしい香りと、すっきりとした後味の麦茶
- ◆厳選した大麦を100%使用しており、コカ・コーラ社独自の高温煮出し製法を採用。大麦エキスを加え、おいしさにこだわりました

ひと手間かけて、つくりました。



高品質な手淹れコーヒーの味わいを楽しめる

コスタコーヒー

4月26日発売※1

- ◆コーヒーの本場で愛され続けて50年、ヨーロッパNo.1※2カフェブランド「コスタコーヒー」ならではのおいしさを実現したPETボトルコーヒー
- ◆トータルコーヒーブランドを目指し、PETボトルコーヒーだけでなく、バリスタや卓上マシン等が店舗にて高品質のコーヒーをお届け



※1 4月12日より一部流通先行発売

※2 出典:アレグラ社 2021年ワールドコーヒーポータル調査

はじける炭酸とレモンの甘酸っぱさでさっぱり飲みやすいレモネードのお酒

ノメルズ ハードレモネード

6月21日発売

- ◆米国で人気のレモネードのお酒「ハードレモネード」の専門ブランドとして新登場
- ◆たっぷり果汁で丸ごと感じるレモンの果実感にジンに用いられるスパイス「ジュニパーベリー」の香りが特徴
- ◆「定番のレモネードのおいしさ」「ちょっとすっぱい」「ほろ苦い味わい」が楽しめる3種類のフレーバー



オリジナル

サワー！サワー！サワー！

ビターサワー

注目のハードセルツァー市場に参入!

海外の若者に人気のお酒「ハードセルツァー」の新ブランド※

トポチコ ハードセルツァー

- ◆新感覚のアルコール入りスパークリングウォーターで、コカ・コーラ社が世界に向けて展開するアルコール初のグローバルブランド
- ◆カロリーや糖類を抑えたスッキリとしたのど越しと爽やかなフレーバーで、飽きのこない味わいが特徴
- ◆「アサイーグレープ」「タンジーレモンライム」「パイナップルツイスト」の3種類のフレーバーを好みや気分に合わせてお選びいただけます

※7月15日より先行体験サンプルングを実施



アサイー
グレープ

タンジー
レモンライム

パイナップル
ツイスト

自動物流センター「埼玉メガDC」の稼働開始

物流ネットワークの効率化・最適化を目指した「新生プロジェクト」を進めています。その一環として、2019年4月より埼玉工場敷地内に建設を進めていた自動物流センター「埼玉メガDC」が完成し、2021年2月から稼働しています。埼玉メガDCは、6万パレットの保管容量、年間8,500万ケースの製品出荷能力を備えており、自動格納ラックや自動ピッキングシステムなど設備の自動化により、従来の約半分のスペースでの製品保管や、出庫にかかる時間および人手をとまなう作業工程の短縮を実現しています。東京・埼玉エリアの基幹物流拠点として、高品質・低コスト・安定供給を目指してまいります。



自動ピッキングシステム

「ボトルtoボトル」の推進

使用済みPETボトルから新しいPETボトルを生み出す「ボトルtoボトル」を推進しています。2020年から「い・ろ・は・す」に100%リサイクルPETボトルを採用しており、2021年5月には、主力の「コカ・コーラ」や「ジョージア ジャパン クラフトマン」小型PETボトルへの同PETボトルの採用を発表しました。これにより、CO₂削減と石油由来原料から新たにつくられるプラスチック量の削減を図っております。今後も取り組みを推進し、2020年に28%だった「ボトルtoボトル」の比率を2030年には90%に引き上げる予定です。



ダイバーシティ&インクルージョンの推進

当社は、ダイバーシティ&インクルージョンの推進を重要な経営課題のひとつと位置づけています。女性リーダー向けの研修に加え、男性の育児休暇取得推進などさまざまな取り組みを行っており、2021年2月には「東京都女性活躍推進大賞」の産業分野において、最高位である「大賞」を受賞しました。

また、当社の女性管理職比率について、「2025年までに6%」と掲げていた目標を2021年1月に前倒しで達成しました。新たな目標として、2025年までに10%、2030年までに20%という数値を設定し、推進を強化しています。

さらに、婚姻の平等(同性婚の法制化)に賛同する企業を可視化するためのキャンペーン「Business for Marriage Equality(BME)」への賛同を表明しました。社内外問わず、LGBTQにおける取り組みをいっそう強化しています。



「新・ダイバーシティ経営企業100選」に選定



東京で働く、
自分らしく。

東京都女性活躍推進大賞



Business for Marriage Equality

婚姻の平等に賛同する企業を可視化するためのキャンペーン「Business for Marriage Equality(BME)」への賛同

会社概要

■ 商号	コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社 Coca-Cola Bottlers Japan Holdings Inc.
■ 本店所在地	東京都港区赤坂九丁目7番1号 ミッドタウン・タワー
■ 設立	1960年12月20日
■ 資本金	152億3千2百万円
■ 連結従業員数	15,643名
■ 証券コード	2579
■ 発行可能株式総数	500,000,000株
■ 発行済株式総数	206,268,593株 (議決権の数: 1,785,648)
■ 株主数	64,688名 (自己株式を除く議決権を有する株主数: 56,260名)
■ 1単元の株式数	100株

取締役

代表取締役社長
カリン・ドラガン

代表取締役副社長 CFO
ビヨン・イヴァル・ウルグネス

社外取締役 独立役員
吉岡 浩

社外取締役 独立役員
和田 浩子

社外取締役 独立役員
谷村 広和

社外取締役 (監査等委員)
イリアル・フィナン

社外取締役 (監査等委員)
独立役員
行徳 セルノ

社外取締役 (監査等委員)
独立役員
濱田 奈巳

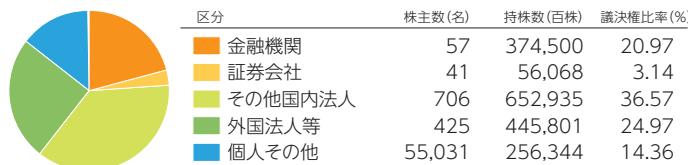
社外取締役 (監査等委員)
バムシー・モハン・タティ

株式の状況 (1単元: 100株)

■ 大株主一覧

株主名	持株数(百株)	議決権比率(%)
日本コカ・コーラ株式会社	279,561	15.66
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	112,343	6.29
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	57,314	3.21
公益財団法人市村清新技術財団	52,947	2.97
薩摩酒造株式会社	46,991	2.63
株式会社千秋社	40,884	2.29
コカ・コーラ ホールディングズ・ウエストジャパン・インク	40,749	2.28
三菱重工機械システム株式会社	39,121	2.19
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	37,006	2.07
株式会社MCAホールディングス	34,075	1.91

■ 所有者別株式数の状況 (議決権の構成比)



(注1) 上記の「大株主一覧」および「所有者別株式数の状況」は、当社保有の自己株式269,226百株を除いて算出・表示しています。

(注2) ザ コカ・コーラ カンパニーが日本コカ・コーラ㈱およびコカ・コーラ ホールディングズ・ウエストジャパン・インク 等子会社を通じて18.88%を保有しています。

株主メモ

- 事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
- 定時株主総会 毎年3月開催
- 基準日 定時株主総会: 毎年12月31日
期末配当金: 毎年12月31日
中間配当金: 毎年6月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

詳しくは当社ウェブサイト

「株式に関するお手続き」をご覧ください。

<https://www.ccbj-holdings.com/ir/stockholder/procedure.php>

- 株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
- 事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

■ 公告の方法

電子公告により、当社ウェブサイトに掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。当社ウェブサイト(電子公告):

https://www.ccbj-holdings.com/corporate/public_notice/

スマートフォンからも

アクセスいただけます



IRサイトのご紹介

社長からの株主・投資家のみなさまへのビデオメッセージ、決算短信や有価証券報告書等の開示資料、アニュアルレビュー等のIRコミュニケーションツール、決算説明会のプレゼンテーション(資料およびいつでも聴取いただけるウェブキャストアーカイブ)等、豊富なIR情報を掲載しています。また、メーリングリストへご登録いただいた方へ、決算発表やニュースリリースなどをタイムリーにお知らせしています。ぜひご覧ください。

詳しくは当社ウェブサイト「IR・投資家情報」をご覧ください。

<https://www.ccbj-holdings.com/ir/>

スマートフォンからも

アクセスいただけます



コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社
〒107-6211 東京都港区赤坂九丁目7番1号 ミッドタウン・タワー
<https://www.ccbj-holdings.com/inquiry/>



本報告書は、環境保全のため、FSC®認証紙を使用し、植物油インクで印刷しています。